

凡例	
	災害時指定避難場所
	警察
	消防
	市役所・総合支所
	病院
	高速道路
	国道
	県道
	鉄道



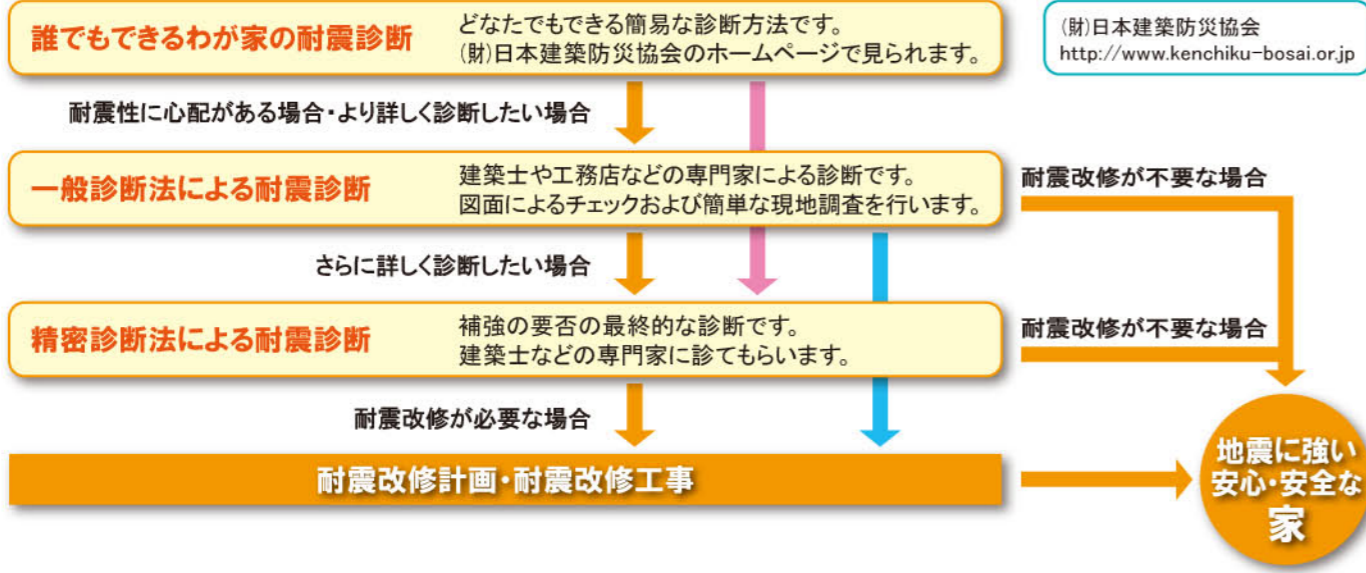
地震への備え...

進んで耐震診断を行い、補強が必要な箇所の耐震改修を実施しましょう!

昭和56年5月以前に建てられた木造住宅は、ぜひ耐震診断を行って下さい。
昭和56年5月以後に建てられたものでも、ご心配なら、耐震診断を行うことをお勧めします。

美祿市建設課でも、耐震に関する相談を受け付けています。

耐震診断から耐震改修工事までの流れ



(財)日本建築防災協会
<http://www.kenchiku-bosai.or.jp>

壁を補強する

- 耐力壁を増やそう!
- 耐力壁のバランスを良くしよう!
- 揺れによるゆがみを防ごう!

耐力壁とは...
ただのボードを張っただけの間仕切用の壁と区別され、構造用合板などを張り、想定される地震力に抵抗できる壁のことをいい、筋かいの入った壁も含まれます。

腐朽部分を補強する

- 腐朽部分は新しいものと交換しよう!

劣化した部材を部分的に取り替えた場合、接合部が弱点にならないように補強しましょう。

接合部分を補強する

- 木造住宅は、壁・柱・はりが一体となって地震に耐える構造です。

山形金物
火打金物 制震金物 筋かいプレート

屋根の軽量化

- 軽い材料の屋根に替えることで、耐震構造を向上!

軽量化については、耐震壁などの上部構造各部の補強と全体で考えましょう。

建物の基礎を補強する

- 土台が大切! 基礎の補強で建物の性能UP!

ひびの入った基礎は樹脂などを注入して補強。
無筋コンクリートは耐震性に乏しく、崩壊しやすい。新たに鉄筋コンクリート造の基礎を抱き合わせます。

ひと部屋だけを耐震化することも有効

家全体の耐震改修が困難な場合、ひと部屋だけでも補強をして安全空間を作っておくと、いざというときに逃げ込む場所として有効です。

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平22業複、第95号)